



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり3本

4月5日号（307号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

戦争のリアルを伝える映画監督

5日(日) = 1、3面



日中戦争での被害と加害に迫った20年前のドキュメンタリー映画「蟻の兵隊」が今、各地の大学生の心にささっています。

ウクライナやパレスチナ自治区ガザ地区など世界各地で戦火が広がり、スマホからの膨大な情報を通じて戦争が身近に感じられる環境も影響しているようです。戦争が始まると何が起きるのか。

各地で上映会を開き、戦争のリアルを若者に伝える神戸市在住の映画監督、池谷薫さん **写真Ⅱ** の思い、人生に迫ります。



迫る

東日本大震災 復興の教訓とは

7日(水) = オピニオン面



能登半島地震で土砂崩れが起きた石川県珠洲市の現場

そこが聞きたい

創造的復興を目指した東日本大震災の被災地では、地域コミュニティの維持が難しくなっているなど、あの日から15年がたつて課題がはっきりと見えてきました。かたや、地震から2年が過ぎた能登半島は復興に向けて歩み出したところ
です。

限界集落を抱える被災地が同じ過ちを繰り返さないために、どうすればよいのか。二つの大地震で復興に携わる姥浦道生・東北大学教授に聞きました。

イラン攻撃

どうする日本

7日(水) = オピニオン面

論点

米国とイスラエルによるイラン攻撃から1カ月がたちました。報復の応酬はやまず、原油輸送の要衝ホルムズ海峡が事実上封鎖され



イラン攻撃に抗議する国会前デモ

るなど、収束のめどは立っていません。

日本はトランプ米大統領から艦船の派遣を求められるなど、重大な決断が必要な局面が続きます。緊迫する中東情勢に対し、今後どう対応すべきか。

経済、外交、安全保障について第一生命経済研究所首席エコノミストの熊野英生さん、日本総合研究所国際戦略研究所特別顧問の田中均さん、笹川平和財団シニアフェローの渡部恒雄さんに聞きました。